

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 **新** 森林作業道グレードアップ事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林整備課 整備係 電話番号：058-272-1111(内 3195)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 19,500 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	19,500	0	0	0	0	0	0	0	19,500
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

これまで岐阜県では、第3期森林づくり基本計画に基づき効率的な木材生産を推進するため、5カ年間で750kmを目標に森林作業道を整備してきた。

近年、異常気象による豪雨等が頻繁に発生しており、作業道の路面洗堀や排水路等の機能低下が発生している。H30年度及びR2年度の豪雨災害で森林作業道が多く被災し木材生産活動に支障をきたしている。

森林作業道は、簡易な土構造の道であることや森林組合等が管理していることから、公道のように十分な維持管理ができていない現状がある。このため、災害に強い森林づくりの一環として既設作業道の機能強化を図ることで森林等周辺地域の保全、安定した木材生産を図る必要がある。

また、昨年度から林野庁において今後の路網整備のあり方が検討されており、主伐時の物流効率化を想定した路網整備、労働災害や山火事等での緊急車輛の走行、災害時のう回路や代替路としての活用など様々な観点から路網整備の見直しが進められており、県としても対応していく必要がある。

(2) 事業内容

(ア) 事業目的・事業効果

森林整備を予定している既設森林作業道を集中的に、路盤整備等により通行車輛の走行性、安全性等を向上させ、物資及び人員輸送の効率化や、災害発生時における代替路の確保等を図る。

(イ) 内容

森林整備を予定している緊急度の高い路線等において、砕石による路盤の整備や維持管理が容易な排水施設の整備を行うことにより、走行性や安全性の向上を図り木材生産をより効率的かつ継続的に行うとともに、緊急時には人命救助が迅速に行えるよう森林作業道の耐久性を高める。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・補助率 定額補助単価以内の額とする。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	19,500	路盤や排水路の整備等
合計	19,500	

決定額の考え方

国の実施状況等を勘案し、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「第3期岐阜県森林づくり基本計画」において、効率的な施業体制の確立として林内路網の整備が位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

国補助事業の森林整備地域活動支援交付金において、対象となる森林経営計画地内の作業道の維持管理費が補助対象となっている。

(3) 後年度の財政負担

計画的な森林整備のため、適正規模の財政負担が継続的に必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体

森林組合、林業事業体等（市町村を除く）

2) 妥当性

森林・林業基本法第6条及び第9条に県及び森林所有者等の責務として位置付けられている。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	森林作業道グレードアップ事業
補助事業者（団体）	森林組合、林業事業体等（市町村を除く） （理由）森林作業道管理規定において、森林組合等が管理者として定められている。
補助事業の概要	（目的）木材生産の効率化を進めるため経営基盤となる森林作業道の走行性、安全性等の向上を図る。 （内容）木材生産等を迅速かつ効率的に行うため、路盤の整備や排水施設の整備等に要する経費の一部を補助する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 （内容）県が定める補助金額以内
補助効果	木材生産を迅速かつ効率的に行うことができ、森林及び周辺地域の保全を図る。
終期の設定	終期 令和5年度 （理由）次期岐阜県森林づくり基本計画の期間

（事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 令和5年度末までに9,000mの森林作業道の機能を強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①整備延長（m）	0	3,000	9,000

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	—千円	—千円	—千円	—千円	(要求額) 19,500千円
指標①目標	—	—	—	—	3,000m
指標①実績	—	—	—	(推計値) —	(推計値)
指標①達成率	—%	—%	—%	(推計値) —%	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 木材需要に確実に対応できる木材生産体制づくりが必要。

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	・ 木材生産をより迅速かつ効率的に行うことが求められるため、 予め森林作業道の走行性能等を強化する必要がある。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	・ 既設作業道の強化等を行うことにより、木材生産の迅速化や緊急車両の通行確保が図られ、路面等の強化を図ることにより森林等周辺地域への土砂の流出を抑えることができるため、緊急時の人命救助や災害に強い森林づくりの一環を担うことができる。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	・ 実行経費に基づく定率補助方式となっており、補助金の査定等が容易である。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
